



新たな地方独立行政法人における 「人材育成」について

令和6年11月21日
障害サービス課

- 人材育成の指針や理念は、法人理念を具現化できる職員の育成ということになる
- 具体的な取組内容の方向性はよいと思うが、法人の理念が示されないと、これらの取組が法人とフィットするか判断できない
- 現在の段階で、法人の理念が確定していないことは確認できたが、神奈川県は条例を作っているため、理念となるものの方向性は示されているのではないか

➡ 「当事者目線の障害福祉推進条例」の具現化という法人の目的を踏まえて、人材育成の考え方を整理する

- 支援技術を習得する前に「ともに生きる」「当事者目線」といった基礎となる考え方を身に付けないと、支援に行き詰まったときに虐待や関わらない支援など誤った支援になってしまう可能性が高い
- 福祉職になる人には、パッションをもってほしいと思っている。パッションを身に着けるための育成についても検討してほしい

今後のスケジュール

＜人材育成計画の体系＞

(1)	求める職員像	➡	令和6年9月	第2回検討会で検討済
(2)	キャリアマップ(キャリアパス)	➡	11月	今回検討
(3)	研修(体系・内容)	}	令和7年1月	第4回検討会で検討
(4)	OJT・職員交流			
(5)	自己研鑽	}	3月	第5回検討会で検討
(6)	地域事業所職員の人材育成			
(7)	地域住民への普及啓発			

➡ 今年度中に人材育成計画の方向性を決定

- 1 法人のビジョンについて
- 2 法人職員のキャリアマップについて

1 法人のビジョンについて

<基本的な考え方>

本人の暮らしをつくり、それを地域につなげ、ともに生きる社会へと広げる

○ 「暮らし」をつくる

- ・ 本人の生育歴などを学び、歩んできた人生の歴史を理解するとともに、日中活動等を通じて助け合い、信頼関係を築く

○ 「地域とのつながり」をつくる

- ・ 地域の農業やものづくり、サービスへの参加や地域交流を通じて、地域の一員として地域における役割をつくるとともに、暮らすための仲間や居場所をつくる

○ 「ともに生きる社会」をつくる

- ・ 地域をつなげ、民間連携やボーダレスな取組、ごちゃまぜコミュニティづくり等を通じて、誰もが自己実現でき、利他的行動が文化となる社会をつくる

「法人のビジョン」のイメージ図

私たちは、「福祉」を核として、社会課題に取り組みます

地方独立行政法人
神奈川県立●●●●が目指す社会へ

「ともに生きる社会」をつくる

誰もが自己実現でき、利他的行動が文化となる社会をつくる



「地域とのつながり」をつくる

地域の農業やものづくり、サービスなど通じて、地域での役割をつくる

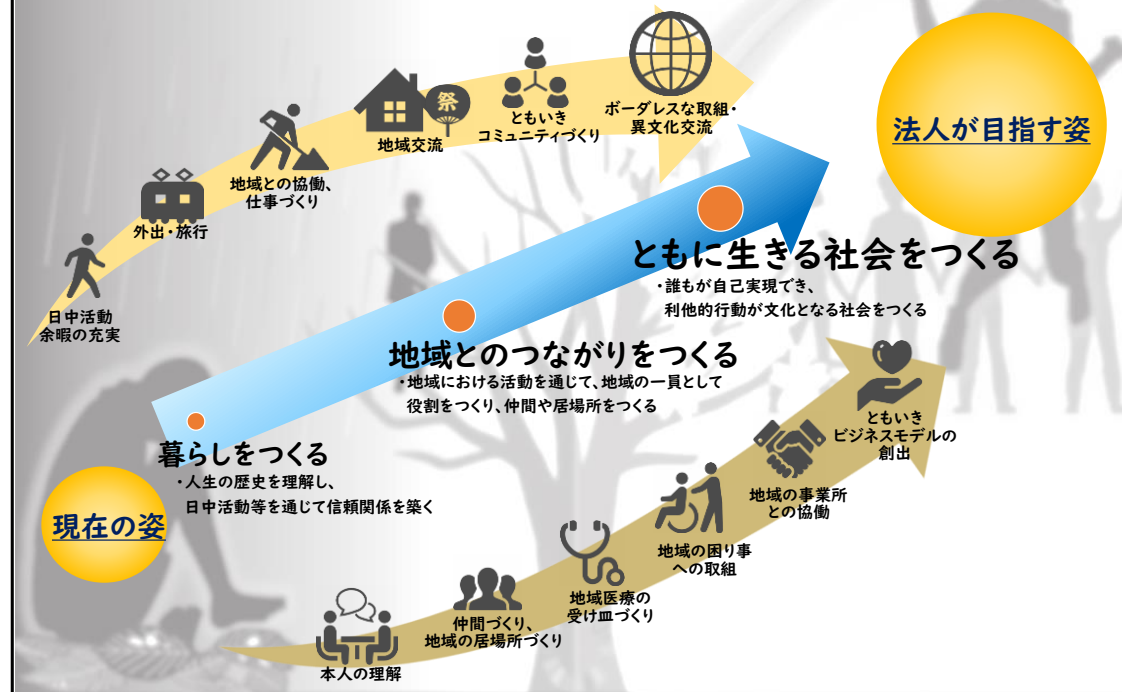


「暮らし」をつくる

日々の暮らしの中で助け合い、信頼関係をつくる



地方独立行政法人 神奈川県立●●●●では、
「ともに生きる社会」の実現に挑戦できる人を求めています



2 法人職員のキャリアマップについて

<基本的な考え方>

《1年目～》

○ 法人職員としての基礎力を身に付ける

- ・ 入職時に、法人の理念、人間力・倫理観、歴史・文化を学び、人としてどう支援を行っていくべきかを身に付ける

○ ICFを活用した支援の基礎知識・能力を身に付ける

《4年目～》

○ 専門領域を学び、自ら考えた支援を実施する

- ・ 基礎力・知識をもとに、より専門的な領域を学び、支援の視野を広げ、利用者の暮らしや課題に合わせて支援を見直し、自ら考えた支援を実践する

《それぞれの道（スタートアップ）に進む》

- ・ 専門領域で培った経験を生かして、法人のビジョンである「ともに生きる社会」をつくるという考えのもと、それぞれの専門分野に進み、社会全体を変える取組を行う

法人職員のキャリアマップ図

法人外

例えば…

- ・脳科学の研究の道へ
- ・グループホームを開設し、利用者と移行
- ・社会的企業を立ち上げ
- ・自治体でともいき施策を策定 など

法人内

研究

人材育成

支援

etc

法人運営

法人内での異動を通じて、専門的な知見を法人内に広める

学んだ知識をそれぞれの進む道に生かす

離

専門領域

支援方法の開発

新たな支援プログラムを開発する

職員交流

法人間で職員交流を行い、他法人の取組を吸収する

多職種連携

医師・看護師・栄養士・PT・OT等とチーム支援を行う

意思決定支援

人生の物語や暮らしから意思を汲み取り、チームで実現する

社会参加の推進

地域や企業等とのつながりを構築するための取組を行う

マネジメント

リーダーシップ力、コミュニケーション力や調整力を養う

既存の支援を自ら工夫し、見直していく支援力を身に付ける

破

4年目

支援に係る基礎知識・能力

(ICF (国際生活機能分類) を活用した状態・特性の把握)

法人職員として身に付けるべき基礎力

理念

法人の設立背景、存在意義や目指すものを理解し、法人職員としての考えを身に付ける

人間力・倫理観

困難を克服する力を養うとともに、人としての考え方や職業人としての正直さを身に付ける

歴史・文化

地域の歴史を理解し、暮らしの背景を知るとともに、先人たちが作りあげてきたものを学ぶ

人間理解

- ・相手を理解する
- ・信頼関係をつくる

人としての考えや基礎知識を学び、法人職員としての土台を身に付ける

守

入職3年目